

2024 年度・事業所アンケート結果のご報告

2025 年 4 月 6 日
児童福祉事業所カラフル

アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。

I. 事業所アンケートとは

今回のアンケート内容は、厚労省より、放課後等デイサービス一般に向けて作成されたものです。内容は、日本全国の放課後等デイサービス共通項目のため、一部、当事業所には不適當かつ回答しにくいと感じられる項目（③、⑥）もあったかと思えます。ただ、貴重なお時間を使って、保護者のみなさまにご回答いただいた今回の結果は、確実に今後の支援活かしていきたいと考えております。

II. 2024 年度・まとめ

大切なお子さんを当事業所に託して頂き、誠にありがとうございます。そして、当事業所にご理解とご協力を頂き、重ねてお礼申し上げます。

この 1 年を振り返って感じることは、「子どもたちの成長に合わせて、事業所も絶えず変化を続ける」ということです。そして、今年、一番注力したことは、「遊びの機動性」です。

昨年度までは、子どもたち自身が事前に予定がわかっていないと「心の準備ができない」といった様子がありました。しかし、本年度、子どもたちから「〇〇を作りたい」「〇〇がしたい」「〇〇公園で〇〇したい」というように、“今”やりたいことについて、具体的な希望が多く出てくるようになりました。そのような変化を引き出す大きな転機になったのは、夏休み期間中に実施した連日の外遊びと夏キャンプだと思えます。それまで、遊んでいても、子どもたちが『フロー状態（超集中状態）』に入りきっていない感じがしていたのですが、夏休み以降、がっちり“今”に焦点が合っている時間が格段に増えました。

遊びには、質があるのです。一般的に放課後等デイサービスでは、レクリエーション、アクティビティ、余暇活動など、いろいろな呼び方で「遊び」をプログラムとして取り込んでいます。しかし、子どもたちの成長を助ける「本物の遊び」を日々提供することは、それほど簡単なことではありません。それを支えているのは、当事業所の機動性です。この一年、当事業所は、その機動性を向上させるために努力してきました。子どもたちの「今」に寄り添い、心が動く一瞬を捉えるため、極力、ルーティンのタイムスケジュールを作らず、方向性だけ定めて、あとは、子どもたちと一緒に走りながら詰めていく。もちろん、いつも成功して終わるとは限りません。それでも、その一緒に考えながら走った時間の積み重ねが、次のアクションに繋がっていくのです。その 1 つの集大成が 2025 年 4 月 3 日に開催した「カラフルなベスト show」だと思えます。ベスト show は、学校の卒業式のように見栄えはいいけど大人主導なイベントにならないよう、最大限配慮しています。あくまでも、子どもたちが主導で開催し、その結果を子どもたちが自身自分のものとして受け止めら

れるように企画・運営しています。終了後、早々に子どもたちから「来年は・・・」という言葉があり、このイベントの発展性を感じて、今からとても楽しみです。

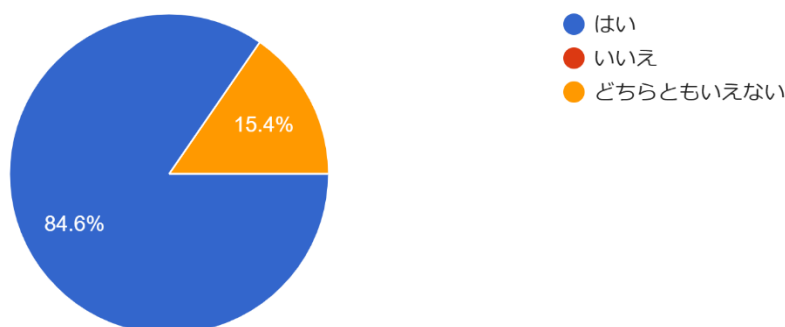
子どもたちの力や個性を引き出すのに近道も魔法ありません。職員も同じ人間として、一緒に考えたり、悩んだりしながら、前に進んでいます。特別なことは何もしていません。2025年度、開設3年目となります。これからも、きっと子どもたちが事業所の進むべき方向を示してくれると思います。子どもたちの視線の先を見失わないよう、見落とさないよう、職員一同、全力で追いかけていきたいと思っています。

最後に余談ですが、よく親御様から質問を受けるのでこちらに回答させていただきます。2024年度、当事業所がレクリエーションとイベント、食事に投入した金額は、450万強となっています。1か月あたり、37万円ほどです。お金のかかる遊び、お金のかからない遊び、それぞれ目的をもって取り入れながら1円も無駄なく子どもたちに還元できたと思っています。2025年度も、子どもたちの経験を充実させることができるよう、本年度同様の予算で取り組んで参ります。

III. 個別アンケート結果

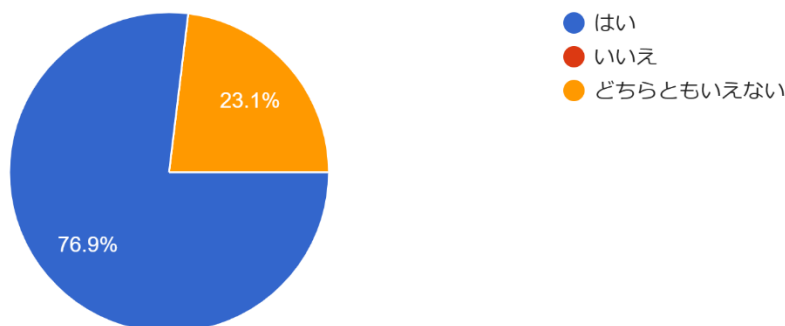
①子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると感じますか。

13件の回答

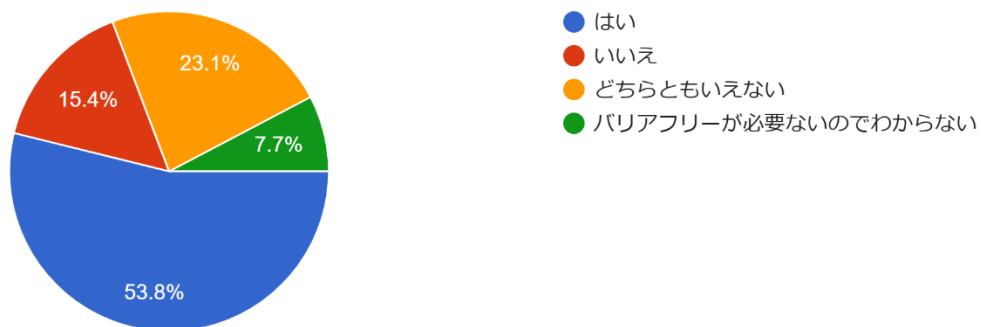


②職員の配置数や専門性は適切であると感じますか。

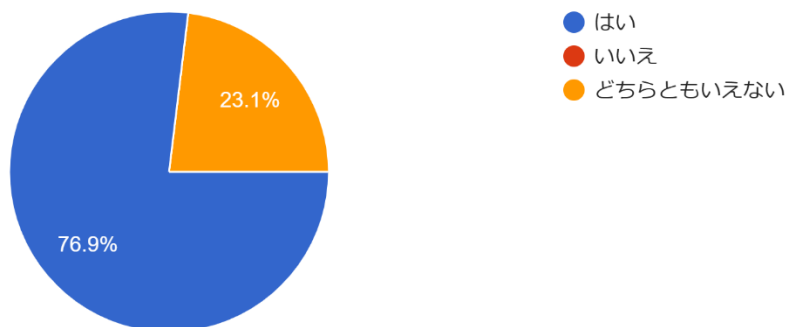
13件の回答



③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切だと感じますか。
13件の回答



④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
13件の回答

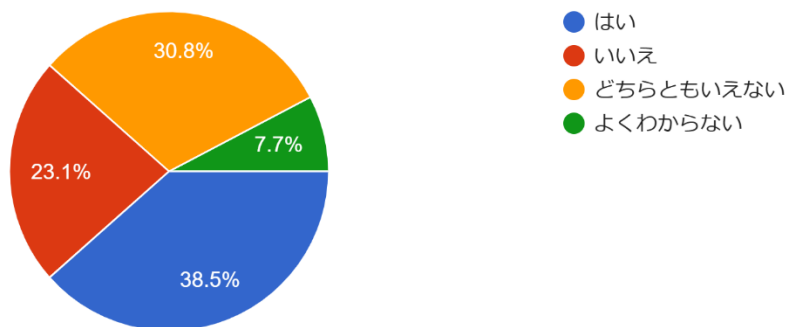


⑤活動プログラム※2が固定化しないよう工夫されていると感じますか。 ※2
事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って...組み合わせて実施されることが想定されている。
13件の回答



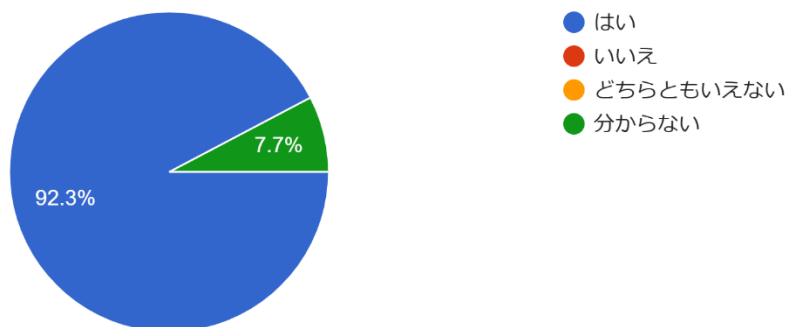
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があると感じますか。

13件の回答



⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明があったと感じますか。

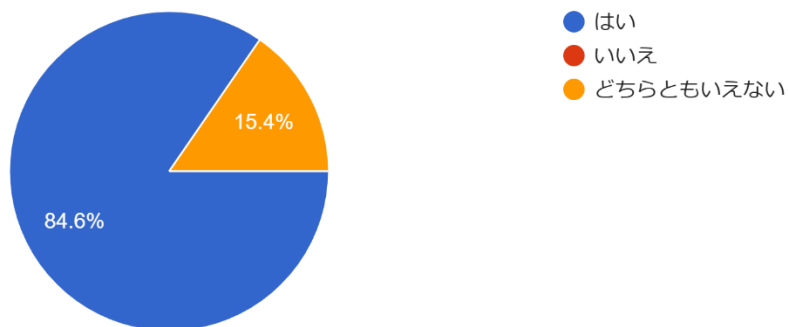
13件の回答



⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、

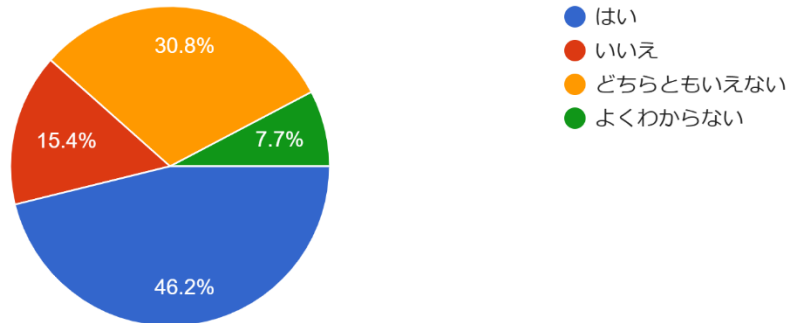
子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていると感じますか。

13件の回答



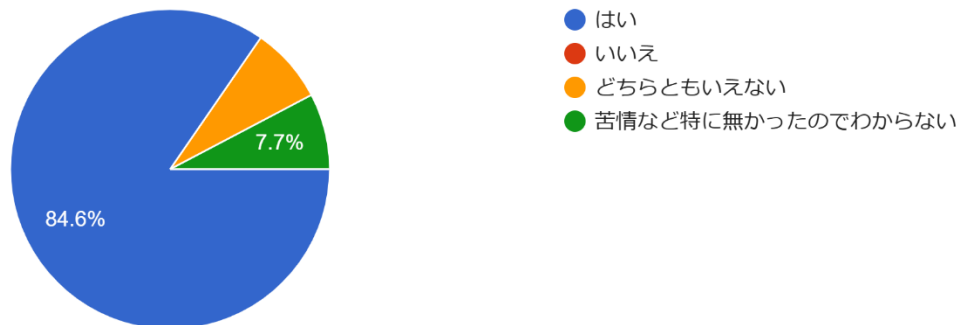
⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていると感じますか。

13件の回答



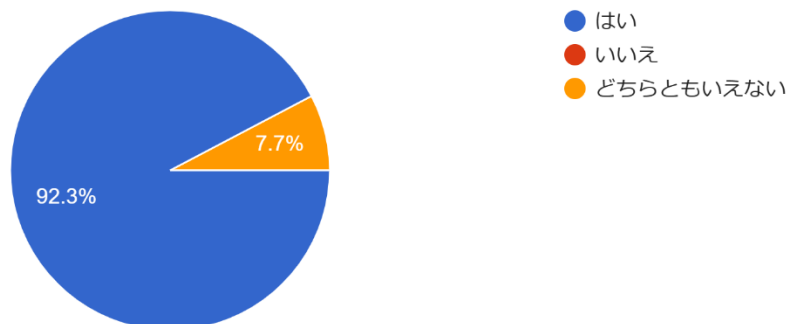
⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していると感じますか。

13件の回答



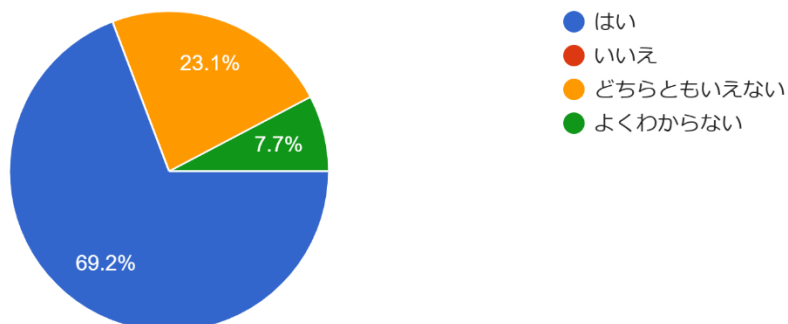
⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされていると感じますか。

13件の回答



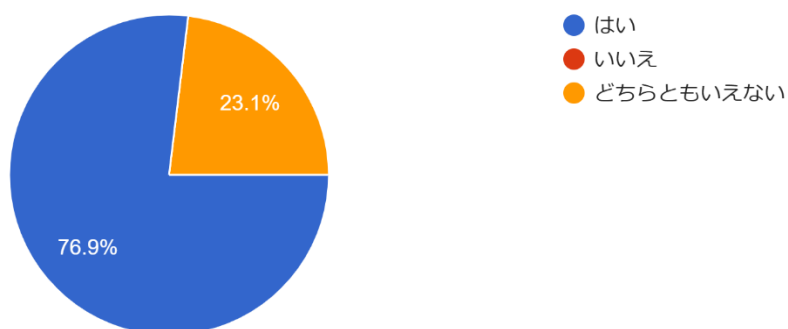
⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していると感じますか。

13件の回答



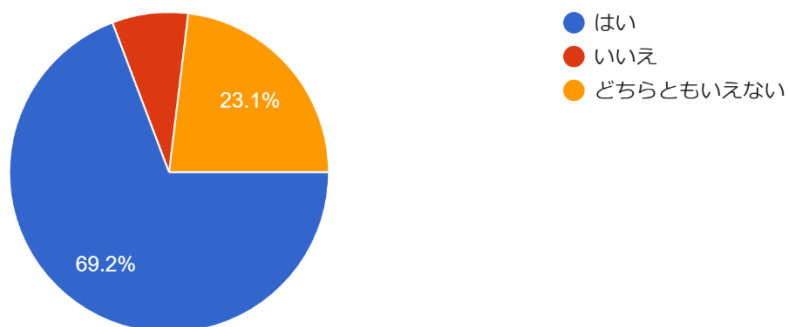
⑭個人情報に対し、配慮されていると感じますか。

13件の回答



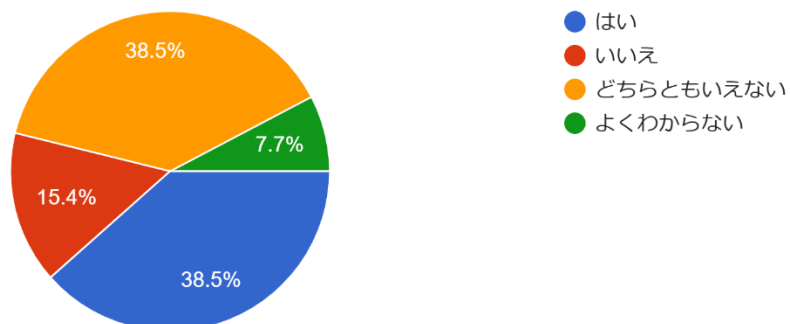
⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていると感じますか。

13件の回答



⑩非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると感じますか。

13件の回答



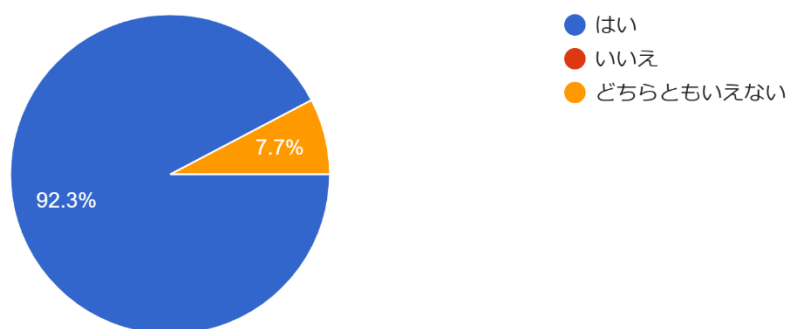
⑪子どもは通所を楽しみにしていますか。

13件の回答



⑫事業所の支援に満足していますか。

13件の回答



最後までお読みいただき、ありがとうございました。